

The Haiku poets introduced in the 7th contest in March 2004

<i>Haiku</i>	<i>Poet</i>
野ざらしを 心に風の しむ身かな	Basho
雪残る いただき一つ 国ざかい	Shiki
砂浜や 何に火をたく 夏の月	Shiki
めでたさは 今年の蚊にも 喰われけり	Issa
水入れて 鉢にうけたる 椿かな	Onitsura
夏川を 越す嬉しさよ 手に草履	Buson
昼寝して 手の動きやむ 団扇かな	Taigi
春雨や 藪に吹かるる 捨て手紙	Issa
春雨や 猫に踊りを 教える子	Issa
春雨や くれなんとして 今日もあり	Buson
里古りて 柿の木持ため 家もなし	Basho
老いぬれば 日の永いにも 涙かな	Issa
鳥の羽に 見そむる春の 光かな	Chora
山門に 出でれば日本ぞ 茶摘歌	Kikusha
旅に病んで 夢は枯野を かけ巡る	Basho
元日は 是も非もなくて 衆生なり	Shiki
元日も たちのまんまの くず屋かな	Issa
三尺の 庭をながむる 春日かな	Shiki
雀の子 そのけそのけ 御馬が通る	Issa
夏草や 兵どもが 夢の跡	Basho
春たつや 愚の上にまた 愚にかえる	Issa
めでたさも 中位なり おらが春	Issa
元日も 立ちのまんまの くず屋かな	Issa
元日は 是も非もなくて 衆生なり	Shiki
のどかさや 浅間のけむり 春の月	Issa
葉がくれを こけ出て瓜の 暑さかな	Kyorai
やぶいりの またいで過ぬ 几巾の糸	Buson
名所とも 知らで畑うつ 男かな	Shiki
追われても 急がぬ振りの こちょうかな	Garaku
百人の 人夫土掘る 日永かな	Shiki
川に沿うて 行けど橋なき 日の永き	Shiki
かえり見れば 行きあいし人 かすみけり	Shiki
長い日や 目のつかれたる 海の上	Taigi
かえり見れば 行きあいし人 かすみけり	Shiki
山の月 花盗人を 照らしたまう	Issa
砂浜や 何に火をたく 夏の月	Shiki
夏草や つわものどもが 夢の跡	Basho
蓮の花 さくやさびしき 停車場	Shiki
花にくれて 我が家遠き 野路かな	Buson
夏川を 越す嬉しさよ 手に草履	Buson
砂浜に 足跡長き 春日かな	Shiki
春雨や 猫に踊りを 教える子	Issa
かえり見れば 行きあいし人 かすみけり	Shiki
島々に 灯をともしけり 春の海	Shiki
古池や 蛙飛び込む 水の音	Basho
雛見世の 灯を引きころや 春の雨	Buson
手にとれば はやにこにこと 売り雛	Baishitsu
箱を出る 顔わすれめや 雛二対	Buson
草花の 鉢並べたる 床屋かな	Shiki
いかのぼり きのうの空の ありどころ	Buson
涼しさや 青田の中に 一つ松	Shiki
カナリヤは 逃げて春の日 暮れにけり	Shiki
春雨や 物語りゆく 蓑と傘	Buson
くたびれて 宿かるところや 藤の花	Basho

鳥の羽に 見そむる春の 光かな	Chora
行く春や 逡巡として 遅ざくら	Buson
草の葉を 落つるより飛ぶ 蛍かな	Basho
途に遭うて 手紙ひらけば 春の風	Kitoo
かえり見れば 行きあいし人 かすみけり	Shiki
蓮の花 さくやさびしき 停車場	Shiki
今日からは 日本の雁ぞ 楽に寝	Issa
苦の娑婆や 桜が咲けば さいたとて	Issa
稲妻や 森の隙間に 水を見たり	Shiki
正月の 子供になって みたきかな	Issa
百人の 人夫土掘る 日永かな	Shiki
老いぬれば 日の永いにも 涙かな	Issa
霞む日や さぞ天人の お退屈	Issa
雪とけて 村いっばいの 子供かな	Issa
春の海 ひねもすのたり のたりかな	Buson